



春のオススメ本紹介

YA担当より

少しずつ暖かくなり、春が近づいてきていますね。
春は出会いの季節。YAコーナーでは、みなさんと新しい本との出会いを
応援しています。あなたにぴったりの1冊を探してみませんか。



①

「読めば読むほど知恵が身につく まほうの寓話」

戸田 智弘／著
幻冬舎
YA書架 908ト



「^{くわわ}寓話」って聞いたことがありますか？寓話は、人生の教訓や
心がまえをユニークな物語でわかりやすく教えてくれるお話で
す。多くの個性豊かな寓話が世界各地で生まれ、語り継がれてき
ました。例を挙げると、「北風と太陽」のお話もその一つです。
おもしろい話を聞くように、軽い気持ちで気になった話から読
んでみて下さい。いつかあなたが迷ったり、悩んだりした時に、
先人たちの知恵が詰まった寓話がヒントをくれるかもしれませ
ん。



②

「給食アンサンブル」

如月 かずさ／著
光村図書出版
YA書架 913キ



みなさんは、学校の給食で好きなものは何ですか？また、そ
れにまつわるエピソードなどはありますか？
「マーボー豆腐」や「黒糖パン」など知っている給食をき
っかけに変わっていく6人の中学生のそれぞれのおはなしが入
った短編集です。タイトルの給食が、それぞれにどうかかわっ
て、心に変化をもたらしていくのか。これを読んで、みなさん
も思い出の給食を思い出してみたいはいかがでしょうか。



③

「わたしの糸」

トール・コーヴェ／作
青木 順子／訳
西村書店
YA書架 Eコ



空から降りてくるたくさんの糸。みんなそれぞれに手を伸ばし
て、それをつかもうとしています。一人の少女もまた、赤い糸へ
手を伸ばし…。
1本の糸をモチーフに、子どもと出会い、過ごし、旅立つまで
が描かれており、人生のつながりの素晴らしさを感じることがで
きます。
シンプルなイラストと詩で綴られています。人生や未来につ
いてふっと考えてしまう1冊です。あなたの糸はどんな風に世界
とつながっていくのでしょうか？



④

「ミイラ学 エジプトのミイラ職人の秘密」

タマラ・パウワー／著・絵
こどもくらぶ／訳・編
今人舎
YA書架 242バ



みなさんはミイラを見たことがなくても、エジプトのミイラの
ことは知っていますね。でも、ミイラにされた人のことやミイラ
を作っている職人のことまで知っている人は少ないでしょう。ち
なみに、ミイラ職人は位の高い人たちだったようです。
この本では、そんなミイラ職人の仕事ぶり、暮らしぶりなどが
詳しく丁寧に書かれていて、その時代を身近に感じ取れるよう
になっています。また、絵もわかりやすく、壁画や象形文字の解説
などもあって、好奇心をととても刺激される本です。

YAとは…ヤングアダルトの略で、
「子どもでも大人でもない世代」のこと。13歳から19歳くらいが主な対象です。

